

## 蔵王町地域景気動向に関する調査結果(要約)

### 1. 調査の概要

#### 1.1. 調査期日

令和6年(2024年)3月

#### 1.2. 調査対象(33件)

業種内訳

業種	1. 建設業	2. 製造業	3. 小売業	4. 飲食業	5. 不動産業	6. 農業	7. サービス業	8. 宿泊業	9. その他	回答件数計
件数	16	1	5	3	0	0	5	0	3	33
%	48.5%	3.0%	15.2%	9.1%	0.0%	0.0%	15.2%	0.0%	9.1%	100%

#### 1.3. 調査結果別紙一覧

##### (1)全業種(33件)の調査結果

別紙1:蔵王町地域景気動向に関する調査結果(全業種)

##### (2)建設業(16件)の調査結果

別紙2:蔵王町地域景気動向に関する調査結果(建設業)

##### (3)建設業以外(17件)の調査結果

別紙3:蔵王町地域景気動向に関する調査結果(建設業以外)

#### 1.4. DI(ディフュージョン・インデックス)値の説明

- ・調査項目「2. 1-1)～3. 9-2)」についての3択回答をDI値(%)で1指標にまとめる。
- ・DI値とは、例えば「良好」、「変化なし」、「悪化」の3択結果を「良好」回答数-「悪化」回答数を「変化なし」回答数を含めた全回答数で割った数値を%表示したもので、調査結果の全体の方向性を示す指標である。

$$\text{DI 値(％)} = (\text{「良好」回答数} - \text{「悪化」回答数}) \div (\text{全回答数}) \times 100$$

(例1)「良好」回答：20件、「変化なし」回答：25件、「悪化」回答：5件 の場合

$$\text{DI 値(％)} = (20 - 5) \div (20 + 25 + 5) \times 100 = 15 \div 50 \times 100 = 30$$

(例2)「良好」回答：5件、「変化なし」回答：20件、「悪化」回答：25件 の場合

$$\text{DI 値(％)} = (5 - 25) \div (5 + 20 + 25) \times 100 = \Delta 20 \div 50 \times 100 = \Delta 40$$

## 2. 調査結果のポイント

### 2.1. 全業種(全件)調査結果の要点

#### ● 景況判断指標

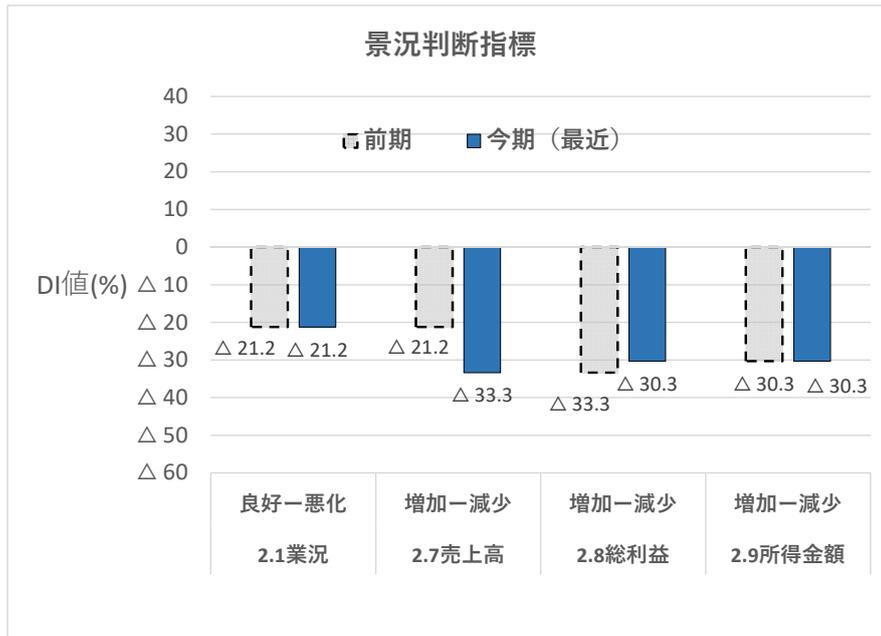
・ 今期の DI 値は全て負値であり、企業全体の景況判断は厳しいものとなっている。なかでも売上高については前期に比べて更に減少しているとの回答である。

業況：今期も前期並みの悪化の状況、

売上高：今期は前期よりさらに減少

総利益：今期は前期より若干の持ち直し、

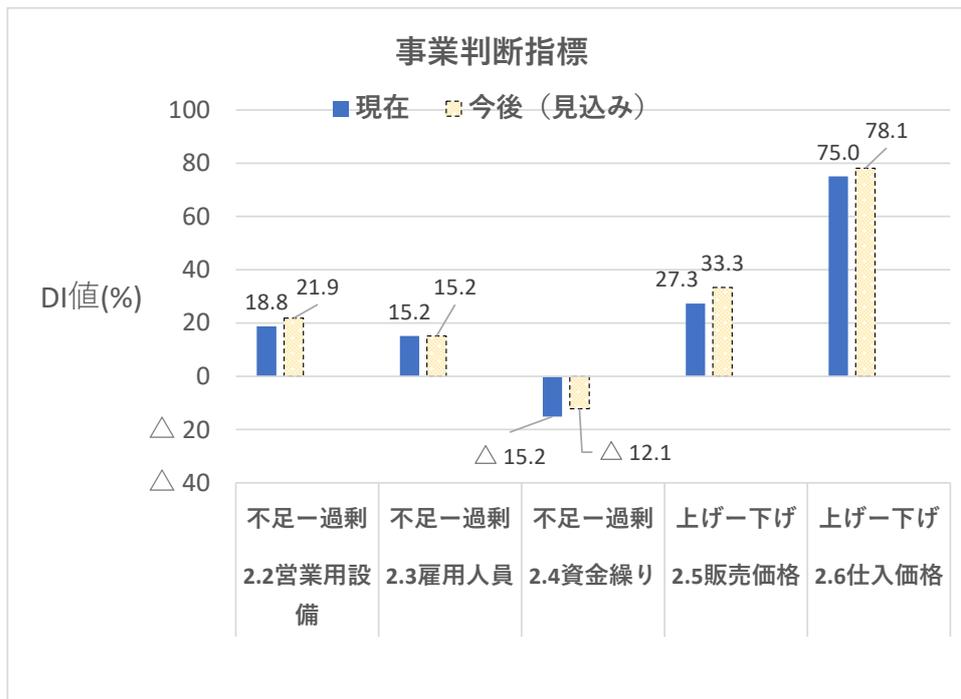
所得金額：今期も前期並みの減少の状況



悪化 > 良好  
減少 > 増加

#### ● 事業判断指標

- ・ 営業用設備：現在でも不足気味であるが、今後はさらに不足が拡大と予想
- ・ 雇用人員：現在の不足気味が今後も続くと予想
- ・ 資金繰り：現在やや過剰であるが、今後は過剰が縮小に向かうと予想
- ・ 販売価格：現在上げているが、今後もさらに上げる意向
- ・ 仕入価格：現在仕入価格が上昇、今後もさらに上がると予想



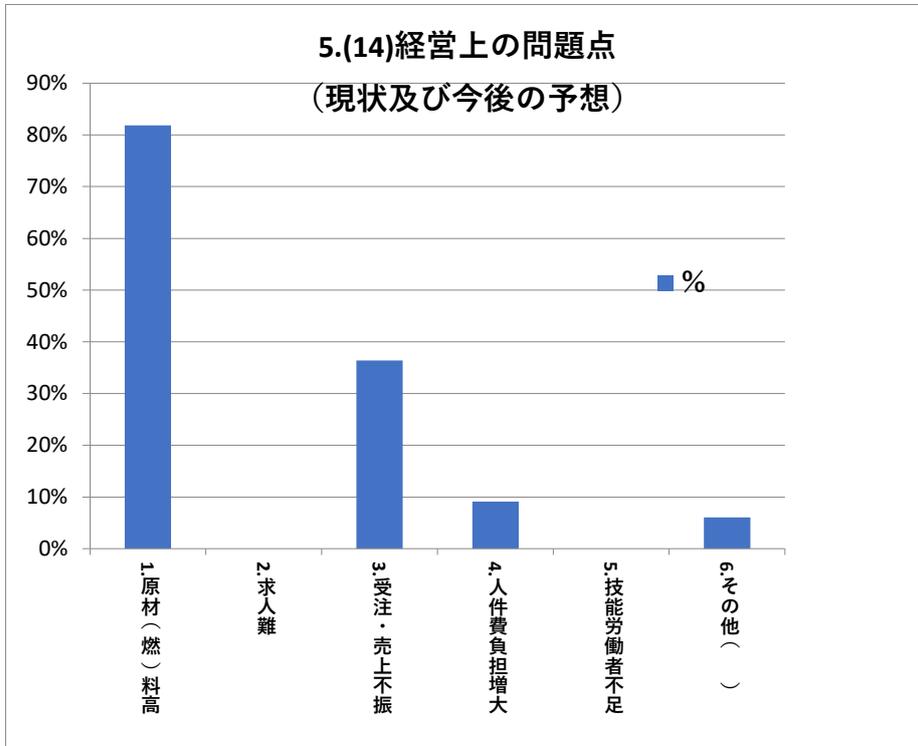
不足 > 過剰  
上げ > 下げ



過剰 > 不足  
下げ > 上げ

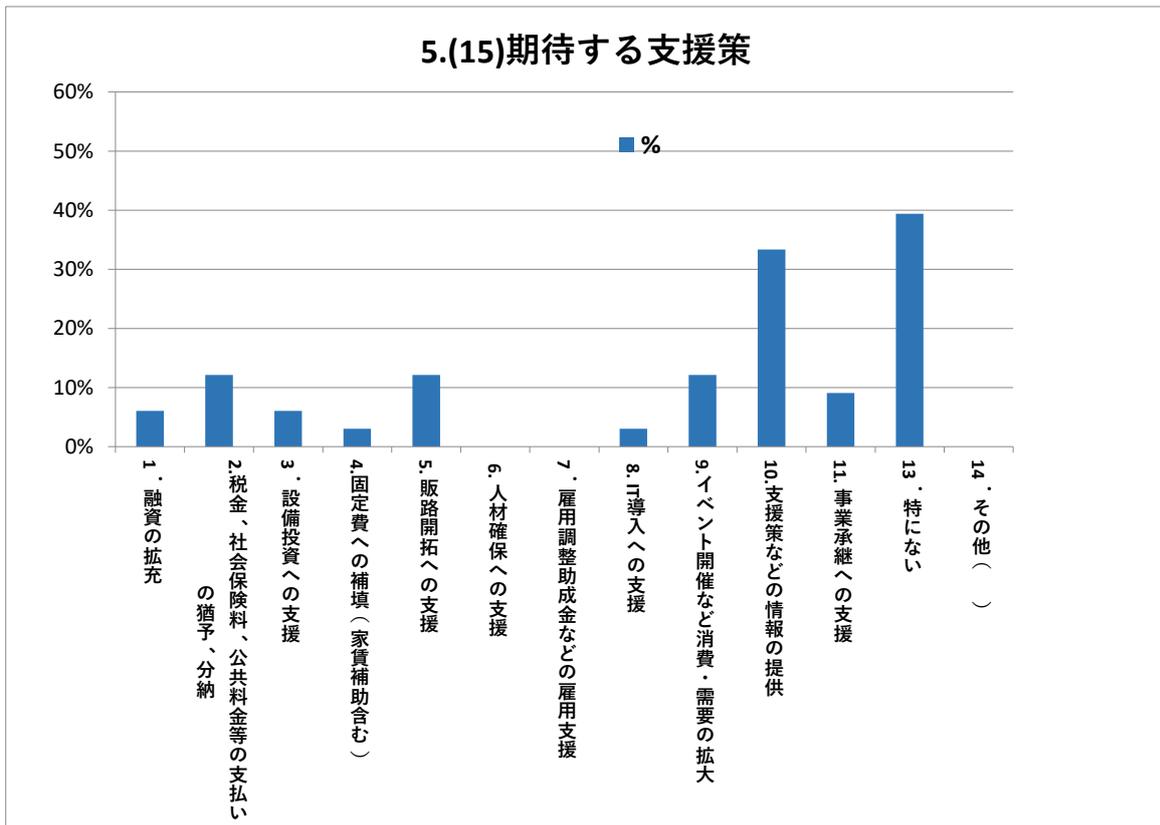
● 経営上の問題点

・「原材料高、燃料高」を問題点としている割合は82%、次いで「受注・売上不振」を指摘する回答が36%、「人件費負担増大」が9%となっている。



● 期待する支援策

・期待する支援策は「情報の提供」が33%で第一位、次いで「税金、社会保険料、公共料金等の支払いの猶予、分納」、「販路開拓への支援」、「イベント開催等の消費・需要の拡大」が同率12%で続いている。



## 2.2. 建設業種のための調査結果の要点

### ● 景況判断指標

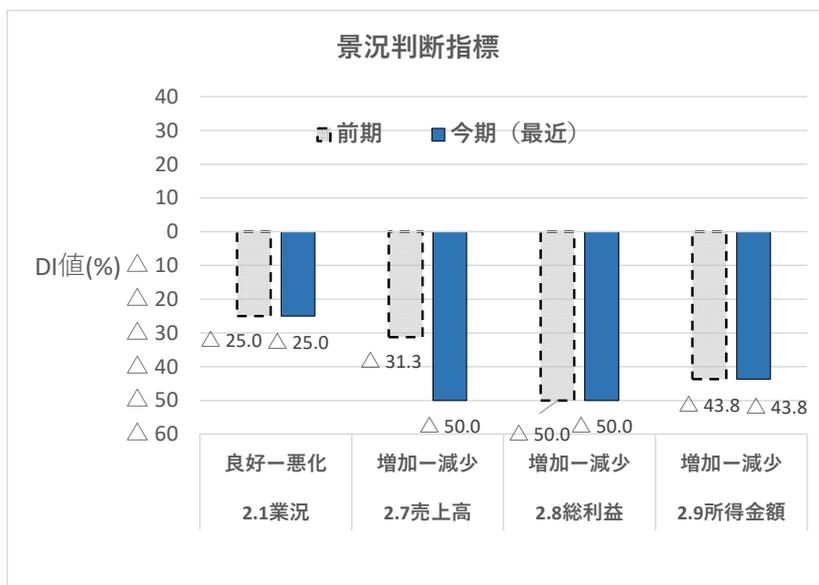
・全業種の結果に比較して、建設のみの景況判断は全項目でより厳しい結果になっている。  
 売上高、総利益、所得金額のDI値は全業種の場合に比べて1.5倍程度のマイナス値である。

業況：今期も前期並みの悪化の状況、

売上高：今期は前期よりさらに減少

総利益：今期も前期並みの減少状況、

所得金額：今期も前期並みの減少の状況

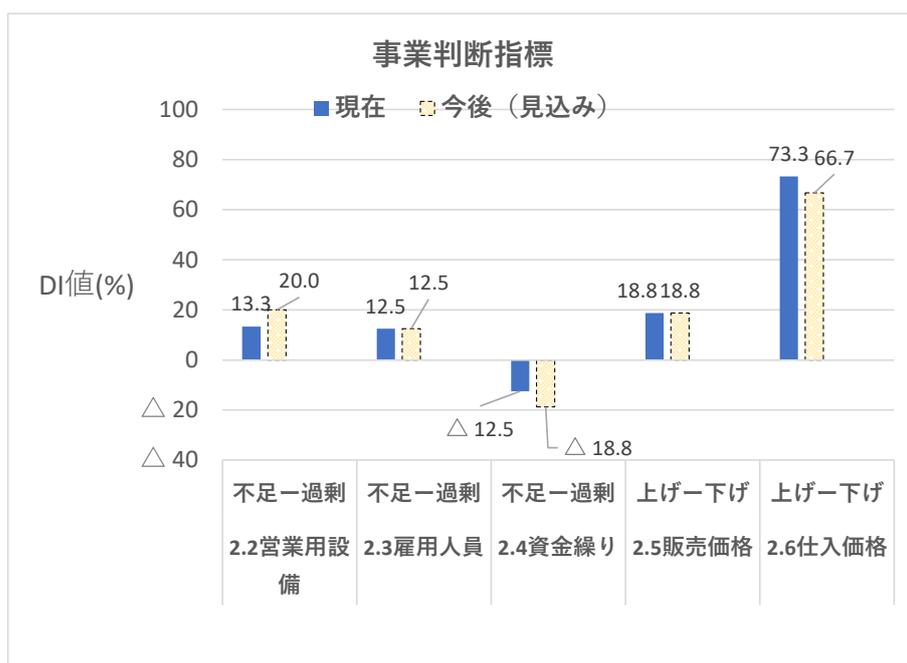


悪化>良好  
減少>増加

### ● 事業判断指標

・資金繰り面では若干の差はあるものの、概ね全業種の傾向と同様である。

- ・営業用設備：今後はさらに不足が拡大と予想、
- ・雇用人員：現在の不足気味が今後も続くと予想
- ・資金繰り：今後は過剰状況が拡大に向かうと予想
- ・販売価格：今後は横ばい維持の意向、
- ・仕入価格：今後は上げ傾向が若干緩和に向かうと予想

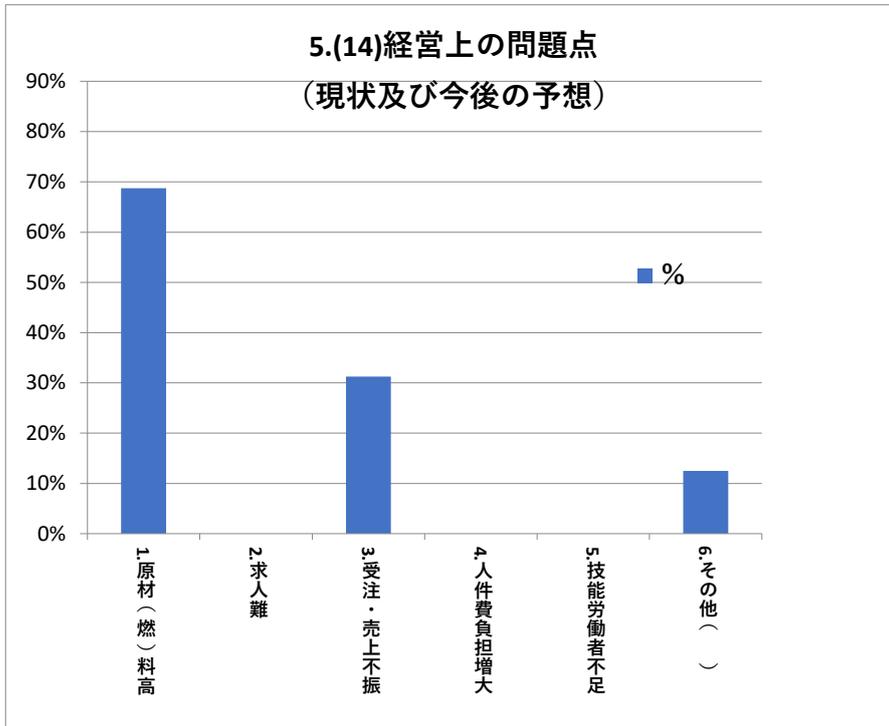


不足>過剰  
上げ>下げ

過剰>不足  
下げ>上げ

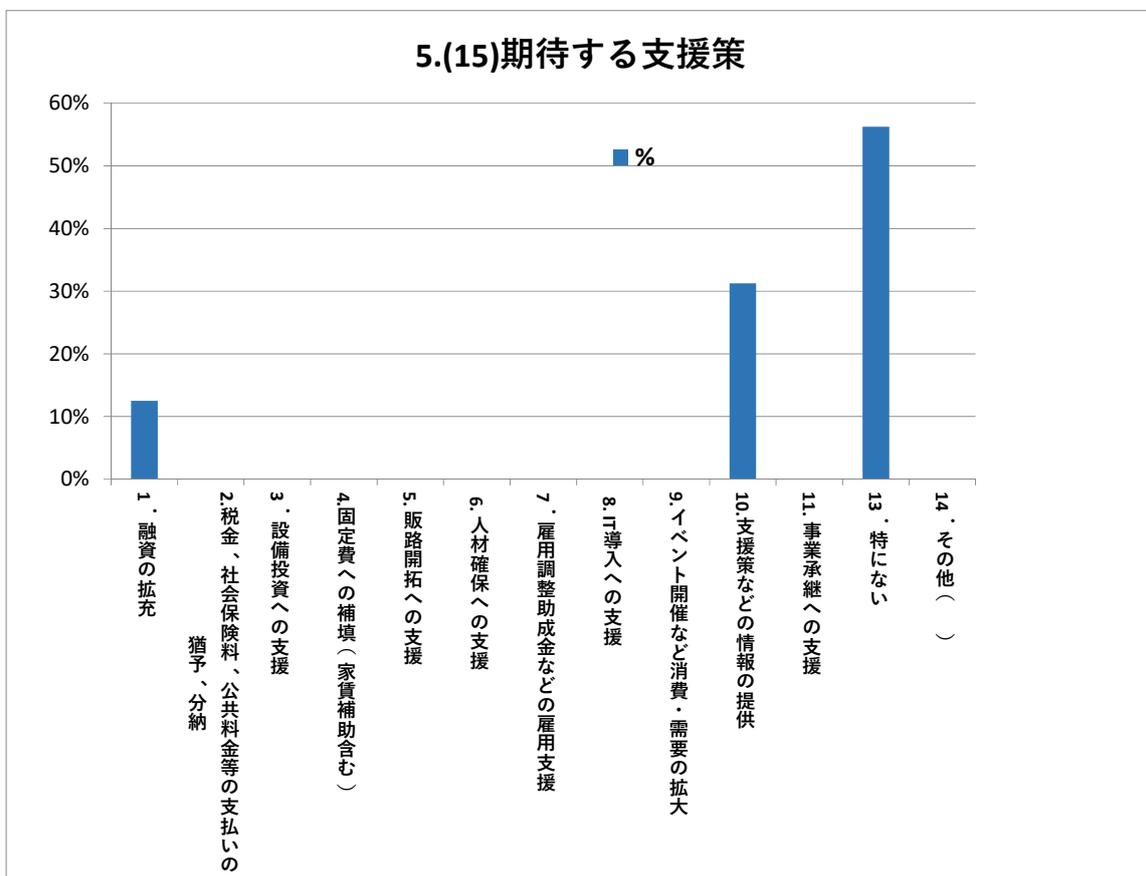
● 経営上の問題点

・「原材料高、燃料高」を問題点としている割合は69%、「受注・売上不振」を指摘する回答が31%となっている。



● 期待する支援策

・期待する支援策は「情報の提供」が31%、ついで「融資の拡充」が13%で続いている。

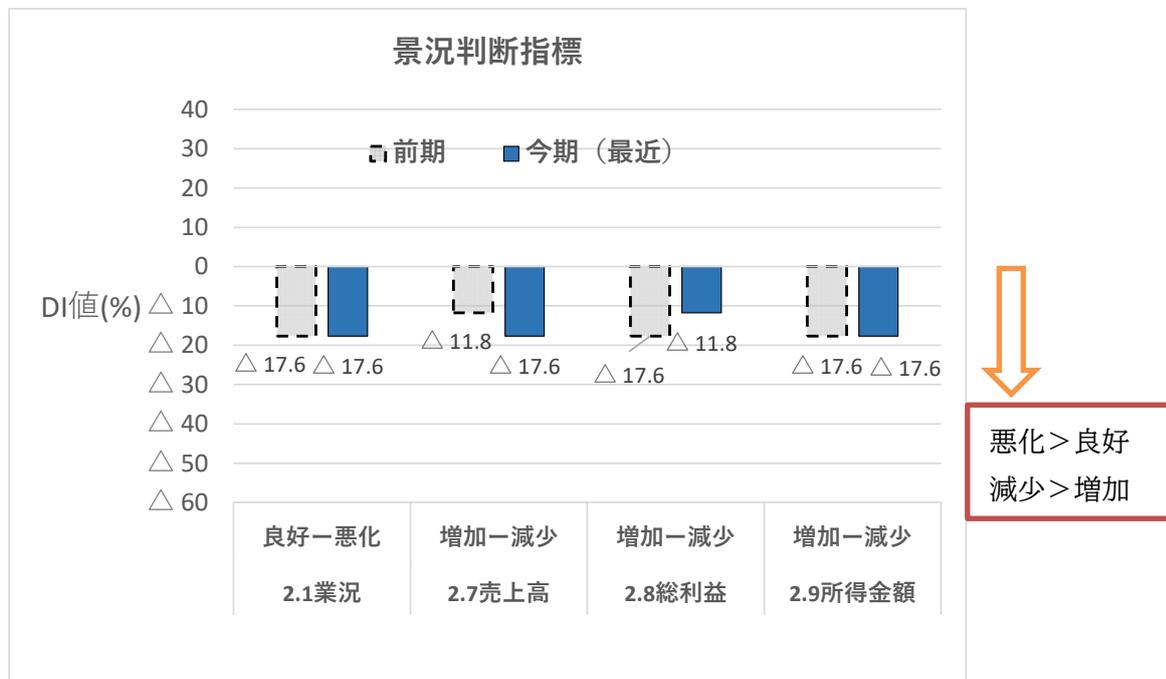


### 2.3. 建設業以外の調査結果の要点

#### ● 景況判断指標

・全業種の結果に比べて、相対的に悪化や減少の程度が軽減されたものとなっている。なかでも売上高、総利益、所得金額の減少の程度は大幅に軽減されたものとなっている。

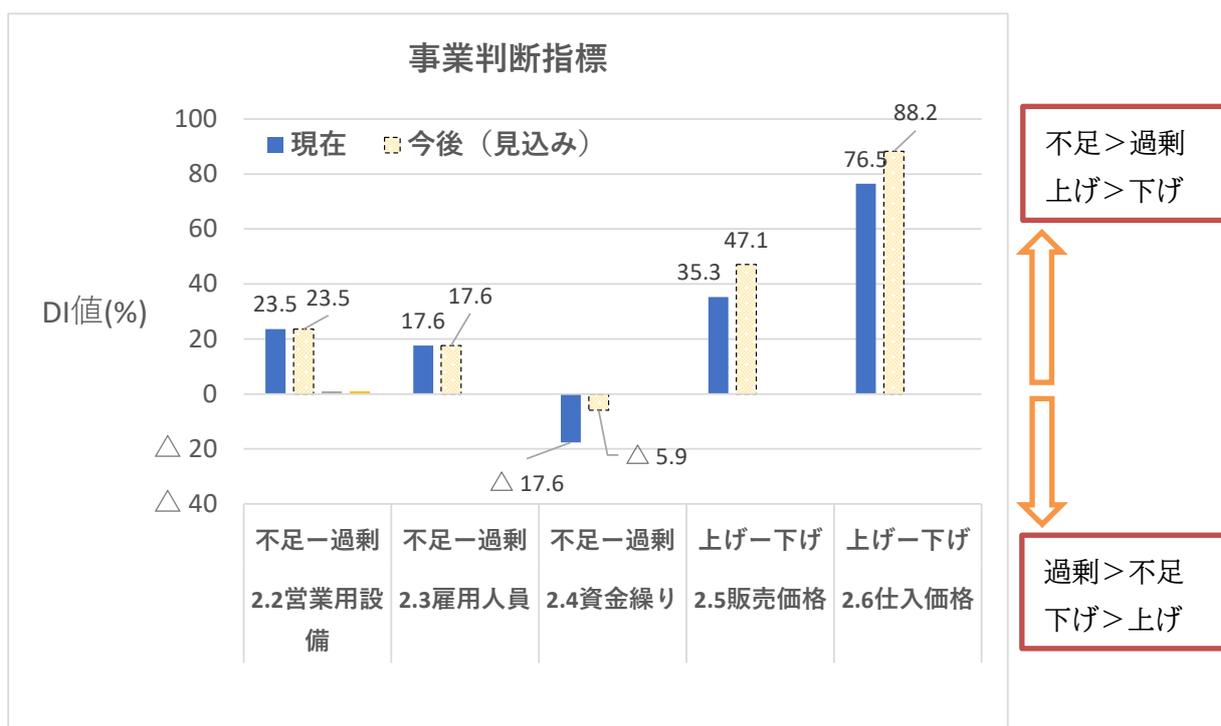
- ・業況：今期も前期並みの悪化の状況、
- ・売上高：今期は前期よりさらに減少
- ・総利益：今期は前期より若干の持ち直し、
- ・所得金額：今期も前期並みの減少の状況



#### ● 事業判断指標

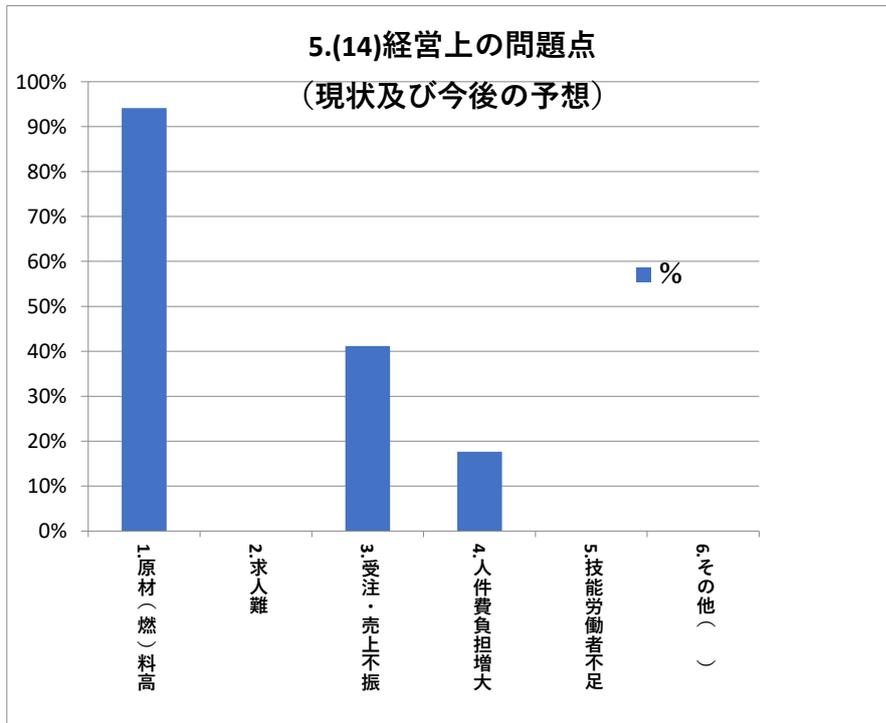
・事業判断指標の傾向は概ね業種全体の傾向と同様である。

- ・営業用設備：不足気味が今後も続くと予想、
- ・雇用人員：不足気味が今後も続くと予想
- ・資金繰り：今後は過剰がかなり縮小に向かうと予想
- ・販売価格：今後もさらに上げる意向、
- ・仕入価格：今後もさらに上がると予想



● 経営上の問題点

・「原材料高、燃料高」を問題点としている割合は 94%とほぼ全員が指摘、次いで「受注・売上不振」を指摘する回答が 41%、「人件費負担増大」が 18%となっている。



● 期待する支援策

・期待する支援策は「情報の提供」が 35%で第一位、次いで「税金、社会保険料、公共料金等の支払いの猶予、分納」、「販路開拓への支援」、「イベント開催等の消費・需要の拡大」が同率 24%で続いている。  
 ・他に「事業承継への支援」が 18%、「設備投資への支援」が 12%、「固定費への補填等」、「IT 導入支援」が 6%と多岐に渡る期待が挙げられている。

